



ハンカチノキ

落葉／中高木／木本植物／外来種



科名 ミズキ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い

新緑の枝々に、大きな白い総苞をもつ花を咲かせる。春風にそよぐ様子は、白いハンカチのように見える。英名もHandkerchief tree。自生地は、四川省～雲南省の湿潤な高地。雨が多いため花粉が濡れるのを防ぐよう総苞が大きく発達したと解釈されている。



緑葉



花



花が連なる様子



花 (詳細)

Memo

ハンカチノキの発見者は宣教師で博物学者のアルマン・ダヴィット。パンダの発見者でもある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期				■	■							
🍒	果実										■	■	
🍂	紅葉・黄葉											■	■
🌱	施肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
✂️	剪定	■							★★				
★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)													

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強		○	弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当たりを好むが、幹に強い直射が当たると嫌う。生長が速く、樹冠が大きく育つので小庭園には向かない。庭木には、矮性品種の'ソノマ'がお薦め。樹高1m程の時期から花をつける。

剪定

生長が速く早期に大木になる。枝抜き剪定にて樹形を整えるとともに、芯止めして樹高を抑えるとよい。一般住宅の庭では大きくなり過ぎ持て余すので、矮性品種がお薦め。

病虫害

病虫害は少ない。テッポウムシ (カミキリムシの幼虫) が幹に穴をあけることがある。